

11月24日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

収穫感謝礼拝

司 会 : 小木秀夫 兄
奏 楽 : 小島明美 姉
おいのり : 赤塚孝子 姉
さんび : 新聖歌 474 (主がわたしの手を) 1・2・3 節
ヤベツの祈り
聖 書 : ヨハネによる福音書 4 章 16 ~ 26 節
(朗読: 大神久美姉)

音 楽 : 倉知 契 牧師
証 し : 加藤由美子姉
メッセージ : 「ひとり神の前に立とう」 倉知 契牧師

さんび と 献金 : ♪ 明日はどんな日か
頌 栄 : ♪ 新聖歌 162 「ハレルヤハレルヤハレルヤ」
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 今日収穫感謝礼拝。主に感謝を忘れずに過ごしましょう。
- ◇ 午後はクリスマスの飾りつけ。来週からアドベントです。聖歌隊も結成！
12/14(土)ジョイキッズ・クリスマスと、12/22-23クリスマスのチラシ完成。
新聞折り込みのための特別献金をお願いします。もちろん手配りも！
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 宿題(祝大)で聖書の楽しさを体験しましょう！
Aコース: ヘブル12章~ヤコブ5章 Bコース: エゼキエル16章~31章

◇ 次聖日礼拝奉仕者 (2013年12月1日)
[司会: 赤塚敏郎兄、いのり: 赤塚孝子姉、聖書朗読: 下岡晶子姉]
[ピアノ: 小島明美姉、賛美リード: 小島 誠兄]
[アシスト: 大神 久美姉 & 大神美乃姉]
[献金: 大神久美姉、受付: 太田昌子姉]
◇ PA: 平松章治兄 ◇ 週報編集: 片岡洋一兄
◇ ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇ 日曜学校: 大神久美姉



「わたしは道であり、真理であり、命である。だれでもわたしによらないでは、父のみもとに行くことはできない。」
(ヨハネ十四の六)

「ゴジラの正体」。今日のコラムにタイトルをつけるとすればこう言えるでしょう。以下11月10日の中日春秋より引用します。

東京・有楽町にあるゴジラ像のプレートにこんな言葉が刻まれている。「このゴジラが最後の一匹だとは思えない」。映画「ゴジラ」が封切られたのは1954(昭和29)年11月のことだった。怪物が都市を破壊する映画は大当たりした。生誕60年の来年には米ハリウッド版の新作公開も予定されている。世界の「ゴジラ」である。怪物は、水爆実験によって出現する。公開と同じ年の3月、ビキニ環礁で水爆実験の「死の灰」を浴びた、第五福竜丸事件が下敷きになっている。原作ではゴジラは第五福竜丸の帰還とともに日本にやってくる。「水爆などいい気になっていたら、人間は自分たちの力で完全に滅びる」。監督の本多猪四郎さんは著書『ゴジラとわが映画人生』で語る。訴えたかったのは進んだ科学を持った人間の恐ろしさだった。

大戦中の原爆投下の記憶もまだ生々しい「あの時」からの警告は、残念ながら現代に生かされていない。核兵器や原発に限った話ではない。インターネットで知り合った一味がその日のうちに誘拐を働く。スパイ機関が別の国の首相の携帯電話を盗聴する。ネット上の憎悪発言。ゴジラは科学技術を使う人間の心の闇の中にすみ続けている。像の言葉は登場する科学者のせりふで、まだ続きがある。「同類が世界のどこかに現れてくるかもしれない」。ゴジラだけである。

聖書は、このゴジラがすでに「エデンの園」で大暴れしている様子を伝えます。取ってはならないと言われた善悪を知る実をエバが食べ、夫アダムもそれに追従(創世記3章)。つまりゴジラの正体は人の心を蝕む「罪」なのです。問題は、ゴジラの処理の仕方。アダムはエバの、エバは蛇(サタン)のせいになりました。責任感の喪失です。みんなが誰かのせいにする社会は「あの時」から変わっていないのでしょうか。そこで、すべての罪の責任、その支払う報酬(賠償金)を支払ってくださるお方が来られた、それが来週から始まるアドベント(降誕節)の物語。「ゴジラを倒す飼ひ葉桶の幼な子」、そんな映画ができれば観てみたいものです。